



2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月11日

上場会社名 株式会社ポプラ 上場取引所 東
コード番号 7601 URL <http://www.poplar-cvs.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 岡田 礼信
問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員社長室長（氏名） 大竹 修 TEL (082) 837-3510
半期報告書提出予定日 2024年10月11日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	6,228	△ 2.6	261	13.2	268	37.9	264	△ 13.8
2024年2月期中間期	6,395	△ 7.4	231	—	194	—	306	—

(注) 包括利益 2025年2月期中間期 235百万円 (△ 24.7%) 2024年2月期中間期 312百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	
	円	銭	円	銭
2025年2月期中間期	20	50	16	05
2024年2月期中間期	25	20	21	74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	4,398	683	15.5
2024年2月期	3,809	477	12.5

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 683百万円 2024年2月期 477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	
2024年2月期	—	0	00	—	0	00	
2025年2月期	—	0	00				
2025年2月期（予想）			—	0	00	0	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	11,920	△ 3.6	409	1.2	404	12.2	348	△ 24.6	25	70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期中間期	11,787,822 株	2024年2月期	11,787,822 株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	914 株	2024年2月期	873 株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年2月期中間期	11,786,921 株	2024年2月期中間期	11,787,018 株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	—	—	2,066 30	2,066 30
2025年2月期	—	—			
2025年2月期(予想)			—	3,250 00	3,250 00

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識関係)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、企業収益の向上に伴う雇用・所得環境の改善に加え、インバウンド需要の増加もあり、緩やかな回復基調となった一方で、不安定な海外情勢に加え原材料価格の高騰や燃料価格の高止まりにより消費者の節約志向の高まりを感じる、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、小型無人コンビニの展開や冷凍惣菜・弁当の製造販売事業の拡大、フランチャイズ化推進によるリスク軽減、自社製造製品の販路拡大など、安定した収益体制と財務基盤の増強に取り組んでまいりました。

<売上と利益の状況>

店舗売上につきましては、社会活動の正常化やインバウンド需要の増加に加え記録的な猛暑となったことで飲料、アイスクリーム等の売上が好調となり、当中間連結会計期間の既存店ベースの売上前年比は103.8%となりました。

自社工場売上につきましても、外部小売事業者への弁当、惣菜の販売については供給先増加に伴い大きく売上が伸長したほか、完全調理済み冷凍惣菜および冷凍弁当の製造販売事業も順調に売上を伸ばしております。

利益面においては、売上が好調であったことに加え、直営店舗のフランチャイズ化を推進したことによる費用の削減が進んだため、物流費や原材料費の高騰はあったものの当初計画の利益予算をクリアし、営業利益は261百万円(前年同期比13.2%増)、経常利益は268百万円(同:37.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は264百万円(同:13.8%減、前年同期は土地売却に伴う特別利益134百万円を計上)となりました。

セグメントごとの活動状況は以下のとおりであります。

<スマートストア事業>

「ポプラ」「生活彩家」ブランドで施設内に展開するスマートストア事業につきましては、チェーン規模の維持拡大に向けた取り組みを推進いたしました。

商品面では、当社の看板商品である、お店で炊きたてのご飯を盛り付ける「ポップ弁」について、今まで以上の美味しさとコストパフォーマンスを追求すべく徹底的な見直しを行ったことで、販売数量が増加いたしました。

販促面では、ポイント100%還元キャンペーンや、特定の商品を購入すれば、必ず話題の新商品がもらえる販売促進策「ONE BUY ONE」企画、QR決済クーポン・キャンペーン等を実施し、集客とお客様の来店頻度の向上に取り組ましました。

これらの結果、既存店ベースの売上前年比は102.7%で、30ヶ月連続で前年を上回るなど、好調に推移いたしました。

また、昨年度に本稼働いたしました完全調理済み冷凍惣菜の製造販売事業につきましては、生産効率の引き上げのため新たな包装機械を導入するとともに、弁当、焼きおにぎり、唐揚げなどの取扱を開始、生産数量も大きく伸長しており順調に業績を拡大しております。

出店に関しては、従来の施設内店舗を5店舗出店、事業所内の一角に1坪から5坪程度の小型無人コンビニを設置する「スマートセルフ」店舗を7店舗出店した結果、期末店舗数は277店舗(前年同期末:273店舗)となりました。

また、様々なキャッシュレス決済が可能なスマートフォンサイズの決済端末を開発し投入することにより、従来以上に低コストでの小型無人コンビニ設置を開始しております。

これら活動の結果、スマートストア事業の営業総収入は2,566百万円(前年同期比3.0%減)、営業損失は37百万円(前年同期実績:営業利益11百万円)となりました。

<ローソン・ポプラ事業>

ブランドチェンジから4年目に突入したローソン・ポプラ事業につきましては、お客様が「お買い物を楽しめる売場」を創り続けることを重点目標とし、商品の充実と販促への取り組み徹底、接客の向上と清掃の徹底に取り組んでまいりました。

販促面では、おにぎり350円以上お買い上げで飲料無料引き換えクーポンプレゼントセールやからあげクン増量セールが売上を押し上げたことに加え、ローソン・ポプラ店舗の特徴である「ポップ弁」については、大盛り無料セールや「できたてポップ弁」唐揚げ1個増量セールを実施し好評いただきました。

これらの結果、売上は引き続き好調を維持、既存店ベースの売上前年比は104.2%となりました。

出店に関しては中国地方で3店舗を出店、直営店舗のフランチャイズ化に関しても5店舗を転換した結果、期末店舗数は117店舗(FC店97店舗、直営店20店舗)となりました。

これらの結果、ローソン・ポプラ事業の営業総収入は3,249百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は465百万円(前年同期比27.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当中間連結会計期間末の流動資産は前連結会計年度末に比較し624百万円増加し2,321百万円(前連結会計年度末比36.8%増)となりました。これは、主に、当中間連結会計期間末が金融機関の休業日であったことにより債務の支払いが翌営業日に繰り越されたこと等から現金及び預金が565百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末の固定資産は前連結会計年度末に比較し35百万円減少し2,076百万円(前連結会計年度末比1.7%減)となりました。これは、主に持合株式の解消を理由として売却した投資有価証券が84百万円減少したこと及び、自社工場の製造効率化のために設備導入したこと等から有形固定資産が50百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末の流動負債は前連結会計年度末に比較し576百万円増加し2,174百万円(前連結会計年度末比36.0%増)となりました。これは、主に当中間連結会計期間末が金融機関の休業日であったことにより債務の支払いが翌営業日に繰り越されたこと等から買掛金が255百万円、加盟店買掛金が116百万円及び未払金が138百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末の固定負債は前連結会計年度末に比較し193百万円減少し1,540百万円(前連結会計年度末比11.2%減)となりました。これは、主に返済に伴い長期借入金が103百万円、リース債務が84百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比較し206百万円増加し683百万円(前連結会計年度末比43.3%増)となりました。これは、主に親会社株主に帰属する中間純利益が264百万円であったこと、優先株式の配当支払いが28百万円あったことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動により727百万円の増加、投資活動において40百万円の増加、財務活動において202百万円の減少があった結果、565百万円増加し、当中間連結会計期間末には1,317百万円(前連結会計年度末比75.1%増)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は727百万円(前年同期は31百万円の増加)となりました。これは主に税金等調整前中間純利益が315百万円、仕入債務の増加額が371百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は40百万円(前年同期は331百万円の増加)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が52百万円、投資有価証券の売却による収入が110百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は202百万円(前年同期は267百万円の減少)となりました。これは主にリース債務の返済による支出が86百万円、長期借入金の返済による支出が85百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、2024年10月3日に公表いたしました内容から変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	752,371	1,317,543
売掛金	77,740	98,287
商品及び製品	243,927	262,877
原材料及び貯蔵品	15,810	20,495
その他	655,254	674,203
貸倒引当金	△48,264	△51,573
流動資産合計	1,696,838	2,321,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	103,884	111,190
土地	1,249,635	1,249,635
その他(純額)	180,671	223,695
有形固定資産合計	1,534,191	1,584,521
無形固定資産	8,886	6,367
投資その他の資産		
投資有価証券	145,295	60,500
敷金及び保証金	334,446	327,240
その他	104,549	110,496
貸倒引当金	△14,567	△12,261
投資その他の資産合計	569,724	485,976
固定資産合計	2,112,802	2,076,865
資産合計	3,809,640	4,398,699

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	271,337	526,956
加盟店買掛金	239,514	355,802
1年内返済予定の長期借入金	206,304	223,496
預り金	106,068	88,654
未払金	325,580	464,394
未払法人税等	85	49,785
賞与引当金	17,506	19,949
その他	432,242	445,643
流動負債合計	1,598,639	2,174,681
固定負債		
長期借入金	195,000	91,848
リース債務	339,297	255,107
退職給付に係る負債	405,472	410,514
資産除去債務	218,122	216,336
長期預り金	570,002	560,382
その他	6,032	6,371
固定負債合計	1,733,926	1,540,560
負債合計	3,332,565	3,715,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
利益剰余金	414,040	649,660
自己株式	△397	△406
株主資本合計	443,643	679,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,239	5,552
退職給付に係る調整累計額	4,191	△1,349
その他の包括利益累計額合計	33,430	4,203
純資産合計	477,074	683,457
負債純資産合計	3,809,640	4,398,699

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業総収入		
売上高	4,804,588	4,488,739
営業収入	1,591,400	1,739,920
営業総収入合計	6,395,989	6,228,660
売上原価	3,653,301	3,430,424
営業総利益	2,742,687	2,798,235
販売費及び一般管理費	2,511,319	2,536,283
営業利益	231,368	261,951
営業外収益		
受取利息	262	290
受取配当金	1,264	1,729
受取手数料	263	304
開発負担金収入	16,324	8,124
違約金収入	—	5,016
貸倒引当金戻入額	790	877
その他	4,790	3,568
営業外収益合計	23,696	19,910
営業外費用		
支払利息	14,252	10,582
株式交付費	41,489	—
コミットメントフィー	3,876	2,501
その他	732	307
営業外費用合計	60,350	13,392
経常利益	194,713	268,469
特別利益		
固定資産売却益	136,833	768
投資有価証券売却益	45,941	61,293
特別利益合計	182,775	62,062
特別損失		
固定資産除却損	6	0
減損損失	14,944	14,666
店舗閉鎖損失	12,944	700
その他	3,030	—
特別損失合計	30,924	15,367
税金等調整前中間純利益	346,564	315,164
法人税、住民税及び事業税	37,898	50,063
法人税等調整額	1,793	553
法人税等合計	39,691	50,617
中間純利益	306,872	264,547
親会社株主に帰属する中間純利益	306,872	264,547

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	306,872	264,547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,651	△23,686
退職給付に係る調整額	△7,921	△5,540
その他の包括利益合計	5,730	△29,227
中間包括利益	312,602	235,320
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	312,602	235,320
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	346,564	315,164
減価償却費	24,930	27,550
減損損失	14,944	14,666
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,516	△498
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,468	1,002
賞与引当金の増減額 (△は減少)	247	2,443
受取利息及び受取配当金	△1,527	△2,019
支払利息	14,252	10,582
固定資産除売却損益 (△は益)	△136,827	△768
店舗閉鎖損失	12,944	700
投資有価証券売却損益 (△は益)	△45,941	△61,293
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,865	△20,547
加盟店貸勘定及び加盟店借勘定の純増減額	42,780	13,748
未収入金の増減額 (△は増加)	△40,209	△14,395
棚卸資産の増減額 (△は増加)	29,607	△23,636
立替金の増減額 (△は増加)	△55,553	△47,501
仕入債務の増減額 (△は減少)	46,226	371,906
預り金の増減額 (△は減少)	△4,698	△17,414
未払金の増減額 (△は減少)	△36,508	116,025
その他	△73,308	1,526
小計	142,040	687,242
利息及び配当金の受取額	1,527	2,019
利息の支払額	△14,160	△10,582
法人税等の支払額	△107,329	△57,143
還付法人税等の受取額	9,230	105,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,308	727,310
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,923	△52,951
有形固定資産の売却による収入	263,426	768
無形固定資産の取得による支出	△8,640	△10,350
資産除去債務の履行による支出	△2,802	△18,274
投資有価証券の売却による収入	77,621	110,427
貸付金の回収による収入	1,545	1,016
敷金及び保証金の差入による支出	△433	△419
敷金及び保証金の回収による収入	9,482	7,609
長期預り金の返還による支出	△3,249	—
その他	4,109	2,667
投資活動によるキャッシュ・フロー	331,137	40,494
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	658,510	—
リース債務の返済による支出	△98,138	△86,479
自己株式の取得による支出	△6	△9
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△700,000	—
長期借入金の返済による支出	△103,152	△85,960
設備関係割賦債務の返済による支出	△24,752	△1,254
配当金の支払額	—	△28,928
財務活動によるキャッシュ・フロー	△267,539	△202,632
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	94,907	565,172
現金及び現金同等物の期首残高	828,047	752,371
現金及び現金同等物の中間期末残高	922,954	1,317,543

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自2023年3月1日 至2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業総収入及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	スマート ストア事業	ローソ ン・ポプ ラ事業	計				
営業総収入							
加盟店からの収入	1,416,602	884,082	2,300,684	—	2,300,684	—	2,300,684
直営店舗の売上	427,000	2,388,624	2,815,624	429,060	3,244,684	—	3,244,684
その他の収入	748,796	44,853	793,650	3,445	797,096	—	797,096
顧客との契約から 生じる収益	2,592,399	3,317,560	5,909,959	432,505	6,342,465	—	6,342,465
その他の収益 (注) 4	53,523	—	53,523	—	53,523	—	53,523
外部顧客への営業 総収入	2,645,922	3,317,560	5,963,483	432,505	6,395,989	—	6,395,989
セグメント間の内 部営業総収入又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,645,922	3,317,560	5,963,483	432,505	6,395,989	—	6,395,989
セグメント利益	11,045	363,709	374,755	13,987	388,742	△157,374	231,368

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店事業、ドラッグストア及び外食事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、配分されていない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日 企業会計基準委員会)に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間において、固定資産の減損損失を14,944千円計上しております。当該減損損失の計上額は、「スマートストア事業」セグメントにおいて14,944千円であります。

当中間連結会計期間(自2024年3月1日 至2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業総収入及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	スマート ストア事業	ローソ ン・ポプ ラ事業	計				
営業総収入							
加盟店からの収入	1,393,547	1,033,870	2,427,418	—	2,427,418	—	2,427,418
直営店舗の売上	337,359	2,176,365	2,513,725	409,847	2,923,573	—	2,923,573
その他の収入	786,710	38,585	825,296	3,143	828,440	—	828,440
顧客との契約から 生じる収益	2,517,618	3,248,822	5,766,440	412,991	6,179,432	—	6,179,432
その他の収益 (注) 4	48,507	720	49,227	—	49,227	—	49,227
外部顧客への営業 総収入	2,566,126	3,249,542	5,815,668	412,991	6,228,660	—	6,228,660
セグメント間の内部 営業総収入又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,566,126	3,249,542	5,815,668	412,991	6,228,660	—	6,228,660
セグメント利益又は 損失(△)	△37,673	465,303	427,629	△3,255	424,373	△162,422	261,951

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店事業、ドラッグストア及び外食事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、配分されていない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日 企業会計基準委員会)に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間において、固定資産の減損損失を14,666千円計上しております。当該減損損失の計上額は、「スマートストア事業」セグメントにおいて14,666千円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。